

のいまつ

2026



金山川

則松校区 第一次
ふくしのまちづくり計画

住んでいる人の顔が見える
安心・安全に暮らせる
まちづくり



2030



則松校区社会福祉協議会は、2001年4月1日に発足し、25周年の節目を迎えました。発足時、会長として目標に掲げたのは、『年老いても障がいをもって今住んでいる家で、友達がたくさんいる住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる方法を地域の皆さまと一緒に考え、作りましょう。』（「社協だより第1号」より）でした。欲張りな目標に四半世紀にわたり地域の皆さまのご支援、ご協力は欠かせないチカラでした。それは、これからも変わることはありません。

活動エリアの現状は、国道3号線で南北に金山川で東西に分断されるような地理的条件のなかに、風土、環境の違う6つの自治区会からなり、世帯数は4,900世帯、人口9,400人、65歳以上の割合（高齢化率）34.4%で少子高齢化の波は確実に広まっています。また、自治区会加入率も低下の一途、町会の自治区会からの脱会、一人暮らしの高齢者も増加、シニアクラブ、子ども会の解散などで住民同士の交流、関わりも希薄になってきています。この状況下だからこそ、昨年、策定委員会を立ち上げ「則松校区第一次ふくしのまちづくり計画」に取り組めたことは意義あることだと思います。

2026年度から5年の計画が、信頼性のない計画に終わらせないためにも推進役が必要です。これからも「ちょいボラ」で「安心して暮らせるまちづくり」をしていきましょう。

2026(令和8)年3月



則松校区社会福祉協議会
会長 猪熊 和仁

第1章 計画策定にあたって 3

- 1 計画の性格
- 2 計画の期間
- 3 計画の策定経過

第2章 則松校区の現状と課題 4

- 1 地域の特性
- 2 地域の福祉課題

第3章 計画体系 5

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 実施項目（体系図）
- 4 重点実施項目

第4章 計画の推進 9

- 1 地域への計画の承認と周知
- 2 計画を推進するための体制
- 3 第二次計画の策定

参考資料 10

- 1 策定委員会委員名簿
- 2 策定委員会での協議事項



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、則松校区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、則松校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 則松校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

2 計画の期間

2026（令和8）年度～2030（令和12）年度までの5カ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

則松校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、則松校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、則松校区小地域福祉活動計画を策定しました。



第2章 則松校区の現状と課題

1 地域の特性

	平成 6(1994)年	平成 22(2010)年	令和 7(2025)年
世帯数	4,208 世帯	4,840 世帯	4,972 世帯
人口	11,524 人	10,739 人	9,395 人
14 歳以下	1,912 人 (16.6%)	1,263 人 (11.8%)	965 人 (10.3%)
15 歳～64 歳	7,963 人 (69.1%)	6,979 人 (65.0%)	5,201 人 (55.4%)
65 歳以上	1,648 人 (14.3%)	2,497 人 (23.3%)	3,229 人 (34.4%)
市民センター	則松市民センター	小 学 校	則松小学校
地域包括支援センター	八幡西 2	中 学 校	則松中学校

出所：北九州市住民基本台帳

則松校区は八幡西区の西側、金山川の下流に広がる地域です。国道 3 号線や県道 281 号線沿いには住宅や商業施設が並び、公園や緑も多く自然と調和した環境が広がっています。交通面では、近隣に JR 折尾駅があり、市の中心部や他の地域への移動に便利ですが校区内を走るバスは本数が少なく、移動や買い物が少し不便な地域もあります。

自治区会（6 自治区会）を中心に季節の行事が行われており、サロンなどの住民が集まる場所もあります。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

- 地域のつながりが弱くなってきています。

則松校区には多くの地域行事がありますが、働き方や生活スタイルの変化により、参加者が減少しています。また、住民同士が顔を合わせて交流する機会も少なくなっており、地域のつながりが弱まりつつあります。今後は、誰もが気軽に参加できるイベントや交流の場を工夫し、地域のつながりを再び育むことが求められています。

- 地域の活動者が高齢化し、担い手の確保が難しくなっています。

地域の行事や見守り活動などを支えてきた活動者の高齢化が進み、新たな担い手の確保が難しくなっています。これからも地域の安心・安全を守っていくためには、若い世代や新しい参加者が関われる仕組みやきっかけづくりが必要です。



第3章 計画体系

則松校区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、取り組みを定めました。

1 基本理念

「住んでいる人の顔が見える 安心・安全に暮らせるまちづくり」

2 基本目標

(1) 活気あるイベントで世代を超えてつながろう

まつりやニュースポーツ大会、敬老会や魚釣り大会などの地域行事を通じて、子どもから高齢者まで全世代が交流できるイベントを開催します。誰もが気軽に参加できる場をきっかけに、地域全体でつながりを深め、安心して暮らせるまちを目指していきます。

(2) 挨拶でつながる思いやりのあふれるまちづくり

「おはよう」「こんにちは」といった日常の挨拶や、「お元気ですか？」などの声かけを通じて、地域の人と人とのつながりを深め、思いやりがあふれるまちを目指していきます。

(3) 協力の輪を広げ次の担い手を育てよう

地域活動を支える人を増やしていくために、広報紙などを通じて活動の内容や魅力をわかりやすく発信していきます。また、地域の行事ごとに単発のボランティアを募集し、多くの人に関わるきっかけをつくります。こうした取り組みを通じて、協力の輪を広げ、次の担い手を育てていきます。



策定委員会の様子



3 実施項目（体系図）

「基本理念」 住んでいる人の顔が見える 安心・安全に暮らせるまちづくり	[基本目標]	[主な取組み]
	活気ある イベントで 世代を超えて つながろう	<ul style="list-style-type: none"> ・はつらつウォーキング【まち協】 ・さわやか体操【市民センター】 ・グラウンドゴルフ大会【まち協】 ・則松金山川コスモスまつり【金山川ボランティア】 ・則松金山川チューリップまつり【金山川ボランティア】 ・松寿山まつり【松寿山自治区会】 ・敬老会【各自治区会、則松東地域福祉協議会】 ・魚つり大会【まち協】 ・のりまつ校区秋まつり【まち協】 ・ニュースポーツ大会【まち協、社協サロン】 ・シニアクラブニュースポーツ大会【松寿山シニアクラブ】 ・則松ふれあいフェスタ【則松東自治区会、則松東地域福祉協議会】 ・どんど焼き【折尾東・則松西自治区会、則松東・松寿山自治区会】 ・盆踊り大会【折尾東自治区会、則松東自治区会】 ・お花見【折尾東自治区会、東折尾第二町内、松寿山自治区会、東折尾年長者クラブ】 ・シニアクラブ文化活動（講演会、落語会等）【松寿山シニアクラブ、市民センター】
	挨拶でつながる 思いやりの あふれる まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り声かけ訪問【社協、民児協、シニアクラブ】※ ・一人暮らし高齢者の誕生日に花等のプレゼント・年賀状送付【社協】※ ・則松小学校の花壇の植え込み【まち協】 ・夜間パトロール【まち協】 ・年末の警戒活動【各自治区会】 ・通学路の見守り【折尾東シニアクラブ、松寿山ボランティア、則松東ボランティア】 ・公園の清掃活動【公園愛護会、則松西自治区会、東折尾年長者クラブ】 ・防災訓練【まち協】 ・消防避難訓練【まち協】 ・ふれあいサロン【社協】 ・ぴよぴよ則松クラブ【まち協】 ・フリースペースのりぴよ【市民センター】 ・行方不明者捜索訓練【長崎自治区会、いきいき良花居】 ・生涯学習市民講座（おとな倶楽部）【市民センター】 ・生涯学習市民講座（ポレポレ健やか塾）【市民センター】 ・環境講座【市民センター】 ・買い物支援【則松東地域福祉協議会、折尾東自治区会、松寿山自治区会、則松団地自治区会】
協力の輪を広げ 次の担い手を 育てよう	<ul style="list-style-type: none"> ・生き生き子ども講座（すまいる）【市民センター】 ・社協だより【社協】 ・松寿山ニュース【松寿山自治区会】 ・則松東地区ニュース【則松東自治区会】 ・のりまつまち協だより【まち協】 ・松寿山シニアクラブ会報【松寿山シニアクラブ】 ・青少年健全育成キャンペーン【まち協】 	

※は登録されている方のみです。

【社協】社会福祉協議会 【まち協】まちづくり協議会 【民児協】民生委員児童委員協議会



4 重点実施項目

今回定めた基本目標を達成するために、特に関係機関・団体と連携して重点的に進めていく事業を「重点実施項目」と定め、次のことを推進していくことにしました。

重点実施項目		次につながる地域活動者を確保し仲間を増やす					
1 課題背景及び地域の現状							
<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に参加する人が少なくなっています。また、住民同士が顔を合わせて交流する機会も少なくなり、地域のつながりが弱まりつつあります。 ・地域行事や見守り活動などを支えてきた活動者の高齢化が進み、新たな担い手の確保が難しくなっています。 							
2 活動の方針・目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを通じて新たな仲間づくりを推進し、地域活動への関心と参加のきっかけを広げていきます。 ・各イベントではボランティアを募集し、自治区会や町内会の回覧を活用して周知を図るとともに、近隣の高校や大学にも呼びかけ、若い世代の参加を促します。 ・「できることを、できる人が、少しずつ」を合言葉に、無理なく参加できるボランティア活動を進め、一人ひとりが地域の一員として関わられるような工夫をしていきます。 ・まちづくり協議会、自治区会、シニアクラブ、市民センターなど地域の関係団体と連携し、子どもたちも参加できるイベントや集いの場づくりに取り組みます。 							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R8	R9	R10	R11	R12	備考
イベントを通じて次の担い手を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・まち協 ・自治区会 ・シニアクラブ ・子ども会 ・市民センター 	→					
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・まち協 ・自治区会 ・市民センター 	→					・自治区会、町内会を通じて募集回覧する。
単発ボランティアの募集	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生 ・大学生 ・地域の皆さん 	→					
大きなイベントと個々のイベントを組み合わせて広める	<ul style="list-style-type: none"> ・まち協 ・シニアクラブ ・子ども会 ・婦人会 	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ大会、三世代交流(魚つり大会) ・サロンをシニアクラブと一緒にやる。



取組み内容	連携する機関	R8	R9	R10	R11	R12	備考	
サロンに若い世代や子どもたちを招待する	・まち協 ・小・中学校 ・市民センター	→						
松寿山まつり	・松寿山 自治区会	→						・担い手に若い人を募り、まつりの充実を図る。 ・防災関連を加える。
各組織と交流を深め協力体制をつくる	・まち協 ・各自治区会 ・市民センター ・シニアクラブ	→						・子どもたちが参加できる仕掛けを常に加える。 (例:盆踊りに子ども向けの踊りを入れる)
則松団地のシニアクラブを作る	・則松団地 自治区会 ・市民センター	準備 期間	敬老の日 イベント 開催	シニア クラブの 届出	→		・花壇づくり、草刈り、 グラウンドゴルフ、 ペタンク	

策定委員会のみなさん



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布などを通じた校区住民への周知 等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、則松校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

則松校区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料 【則松校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 則松校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	猪熊 和仁	則松校区社会福祉協議会	会長	
2	船津 安彦	松寿山シニアクラブ 則松校区社会福祉協議会	会長 副会長	
3	萩峯 節雄	則松校区社会福祉協議会	事務局長	自治区会
4	中村 久美	則松校区社会福祉協議会	会計	
5	和田 貞子	則松校区社会福祉協議会	理事	自治区会
6	大庭 武司	則松校区社会福祉協議会	理事	自治区会
7	高橋 謙一	則松校区社会福祉協議会	理事	自治区会
8	和田 幸三	則松校区社会福祉協議会	理事	自治区会
9	光益 真佐恵	則松校区社会福祉協議会	ふれあいネット ワーク部会長	
10	中堀 千代美	則松校区社会福祉協議会	委員	自治区会
11	日野 俊彦	則松校区社会福祉協議会	委員	自治区会
12	占野 正敏	則松校区社会福祉協議会	委員	

2 則松校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R7年9月24日(水)	・地域の課題、良い所、既存活動、資源の洗い出し
2	R7年10月15日(水)	・既存活動を体系的に整理 ・基本理念、基本目標の設定
3	R7年11月26日(水)	・既存活動を体系的に整理(体系図の完成) ・重点実施項目の選定
4	R7年12月24日(水)	・重点実施項目の取組み内容
5	R8年1月28日(水)	・重点実施項目の単年度計画作成 ・計画書及び概要版の構成
6	R8年2月25日(水)	・計画書及び概要版の構成、編集、部数等の確認



社会福祉協議会のイメージキャラクター
プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)
Volunteer (ボランティア)
Saurus (サウルス≒恐竜)



則松校区社会福祉協議会

〒807-0831 北九州市八幡西区則松 2-9-1 則松市民センター内
TEL 093-602-2010 FAX 093-602-2056

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

